

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月24日更新

事務事業名		こどもエコセミナー助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木 洋治
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	飯開輝久雄
	基本事業	60	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	2226
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 3	事業連番 10613	法令根拠	熊本市子どもエコセミナー実施要領	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑩
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成14年度から、「環境立県くまもと」づくりを目的とした熊本県環境基本計画に則り、学び参加する足元からの環境保全活動を推進し、次代を担う人づくりに資するため、また、環境再生に先進的な取り組みをしている水俣市へ小学5年生を訪問させ、環境を守ることの大切さを体験学習させるため、県の補助事業として始まった。事業実施要領の根本的な変更があっていないため、変化無し。【事業の内容】環境教育の先進地である水俣市へ、全小学校の5年生を派遣し、語り部の話や体験学習を通じ環境を間持つことの大切さを学習させる。
【業務の流れ】	申請書受付事務、補助金交付決定事務、補助金支払い事務、実績確認事務、県への補助金申請事務、県への補助金請求事務、県への実績報告
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	なし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	市内全小学校の5年生を水俣市へ派遣する。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		水俣に学ぶ肥後っ子学習助成事業に名称を変更し、市内全小学校の5年生を水俣市へ派遣する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア エコセミナー事業に参加した児童数		H22年度まで各学校の輪番制で3年に1回5年生を派遣していたが、H23年度より全小学校が対象となったため。また、名称を水俣に学ぶ肥後っ子学習助成事業に変更する。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
小学校児童		→ ア 小学校5年生
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
環境問題に対する関心を高めてもらう。		→ ア 当該年度にエコセミナーに参加し、環境問題を学習した児童の割合
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
対象児童全員の参加を目標としている。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア 人		86	205	625	634	667	667	667	667	
	イ										
② 対象指標	ア 人		86	205	625	634	667	667	667	667	
	イ										
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	87	139	166	836	960	960	960	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	175	283	334	419	480	480	480	480
		(A)事業費計	千円	262	422	500	1,255	1,440	1,440	1,440	1,440
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	67	758	70	419	70	70	70	70
人件費	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	17	184	17	104	17	17	17	17	
	(B)人件費計	千円	67	758	70	419	70	70	70	70	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	329	1,180	570	1,674	1,510	1,510	1,510	1,510	

事務事業名	こどもエコセミナー助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 通常どおり児童が登校し、参加することが考えられる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 県の実施要綱に基づき行っているため、事業目的は達成しており成果の向上余地はこれ以上ない。ただし、現状を維持していくためには事業を継続していく必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 県の補助事業実施要綱に基づいて事業を行っているため、統廃合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 県の補助事業実施要綱に基づいて事業を行っているため、削減余地はない
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在も最小限度の事務量である。委託するような事務量ではない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 教育の一環として行っている事業であり、特定の利益を生むものではない。受益者負担は課していない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行はできない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

対象児童を無事参加させることができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					